

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1		高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金	人手不足企業に悩む地元企業に高齢者の派遣事業を提供している「公益社団法人鳥取市シルバー人材センター」の運営を支援し、地域の労働需給の均衡を実現する。	[派遣件数] [派遣就業延人員] [契約金額] 令和2年度 72件 9,211人日 47,555千円 令和3年度 55件 9,367人日 47,967千円 令和4年度 63件 8,960人日 42,141千円	労働者派遣法の改正により高齢者の派遣期間が緩和されたことを好機と捉え、少子高齢化による生産年齢人口の減少に対する対応策として、また、慢性化しつつある本市域の人手不足を解消するため、高齢者の派遣事業のさらなる強化を図っていく。	経済観光部	経済・雇用戦略課	174
2	○	スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費	「鳥取市スマートエネルギー・タウン構想」に基づき、地域でのエネルギー産業の創出・育成を促進することにより、地域産業の振興や雇用の創造を図る。	・地域新電力会社による環境教育の実施。(小学校7校 286名対象) 座学のみでなく、域内再生可能エネルギー施設見学(秋里下水処理場(及び敷地内のバイオマス発電設備)、鳥取すいそ学びうむ、殿ダム)といった実地での学習も交えたプログラムを提供。 ・地域エネルギー推進コーディネーターの配置(0名)	事後に取ったアンケートから、子ども・保護者ともに、本事業に対する満足度が高く、保護者からの継続要望、期待を示す項目の数値も概ね高かった。 とっとり市民電力が県企業局などからの電気調達に加え、東部広域行政管理組合が運営する新可燃物処理施設「リンピアいなば(出力:7,000kW)で発電される電気を新たに調達することになり、エネルギーの地産地消と地域内経済循環につながっている。 引き続き、環境省「脱炭素先行地域」の取組を中心に、とっとり市民電力と協力し、エネルギーの地産地消と地域内経済循環に資する取組を推進していく。	経済観光部	経済・雇用戦略課 (スマートエネルギー・タウン推進室)	177
3	○	国際経済交流推進事業費	鳥取市国際経済発展協議会が運営する環日本海経済交流センターで、地元企業の貿易相談、経済・観光講習会の実施、翻訳・通訳業務、海外企業とのマッチング、国際観光支援、市民交流等を行う。 平成30年度から、企業のさらなる海外展開に向けた高度外国人材活用支援のため留学生インターンシップを実施。 令和元年度にベトナム友好団体連合と覚書を締結。同年10月に経済視察団を派遣し連携を強化。 ウィズコロナ型のインターンシップ事業を実施し、アフターコロナを見据えた取組を実施している。	・環日本海経済交流センターでの貿易相談等(378件)・企業訪問(11件)・翻訳・通訳業務(43件)等の実施。 ・留学生地域就労支援事業(インターンシップ)(参加留学生) 令和元年度 13名 令和2・3年度 中止 令和4年度 2名	アフターコロナを見据え、スタッフの育成と海外との積極的な渉外を行う環境を整えていくいながら市内中小企業の海外展開を積極的に支援することが重要である。 今後も、スタッフの育成と海外での積極的な渉外を行い、市内中小企業の海外展開を積極的に支援する。 また、留学生の地域就労を促進するため、本格化するアフターコロナに即したインターンシップを実施する。	経済観光部	経済・雇用戦略課	178

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4~6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)																					
4	○	関西情報発信拠点推進事業費	麒麟のまち圏域のブランド化を推進するため、大阪市北区中之島に設置した「麒麟のまち関西情報発信拠点」を運営し、プロモーション事業を行うことで、交流人口の増加及び移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>売上金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>64,999人</td> <td>76,450千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>69,935人</td> <td>81,924千円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>63,148人</td> <td>72,703千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>30,608人</td> <td>36,024千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>26,239人</td> <td>30,153千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>33,984人</td> <td>44,054千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>①関西情報発信拠点管理運営業務 中央フードサービス 22,500千円（債務負担行為）</p>		利用者数	売上金額	平成29年度	64,999人	76,450千円	平成30年度	69,935人	81,924千円	令和元年度	63,148人	72,703千円	令和2年度	30,608人	36,024千円	令和3年度	26,239人	30,153千円	令和4年度	33,984人	44,054千円	<p>本施設を圏域のPR拠点として効果的に活用・維持管理ためには、本施設の魅力を高め、利用者数及び売上金額をコロナ前の水準まで回復させる必要がある。</p> <p>また、2025大阪万博やアフターコロナを踏まえ、麒麟のまち圏域の各町と連携し、圏域の情報を発信し、多くのお客様に圏域の魅力を知っていただくよう取り組んでいく事が重要である。</p>	企画推進部	経済・雇用戦略課	178
	利用者数	売上金額																											
平成29年度	64,999人	76,450千円																											
平成30年度	69,935人	81,924千円																											
令和元年度	63,148人	72,703千円																											
令和2年度	30,608人	36,024千円																											
令和3年度	26,239人	30,153千円																											
令和4年度	33,984人	44,054千円																											
5	○	(再掲)雇用促進協議会支援事業費	若者の地元就職の促進や雇用の安定を図るため、雇用創造・雇用促進に関する機関や団体で構成する「鳥取市雇用促進協議会」が実施する事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の企業説明会（参加者124人：2校、参加企業12社） ・地元企業と高校進路指導担当者との就職情報交流会（参加企業16社、参加高校7校） 	有効求人倍率が平成27年7月から連続して1倍を超える状況が続いており、人材不足が長期化している。若年者の地元企業への就職の促進、職場への定着率の向上など、引き続き労働需給の均衡に関する諸課題の解決に向けて取り組んでいくことが必要である。	経済観光部	経済・雇用戦略課	180																					
6	○	人材確保推進事業費	市内企業のPRや、平成31年1月に締結した雇用対策協定に基づき、ハローワーク鳥取と連携して実施する取組により、市内企業が求める人材の確保を推進し、地域経済の活性化を図る。	<p>市内企業が求める多様な人材を市内外から確保できる事業を推進し、地域経済の活性化を図る。</p> <p>①地元企業就職PR動画作成助成金 0件 ②奨学金返済支援事業補助金 2件 ③雇用対策協定に基づくハローワーク鳥取との連携事業：障がい者就職面接会、介護就職デイ、高齢者就職相談会、マザーズコーナー就職セミナー</p>	さらなる企業の魅力の発信及び市内企業の人材確保を推進するとともに、ハローワークとの連携の中で、ターゲットを明確にした事業を推進していく必要がある。	経済観光部	経済・雇用戦略課	181																					
7	○	新技術研究開発事業費	産学官連携による新たな製品開発や新技術の実用化等を支援することにより、地場産業の活性化を推進する。	補助実績なし	<p>令和元年度以降、補助実績がない状況が続いている。原因として、鳥取県に同種の補助金があり、県補助金の方が上限が高いため、市補助金の申請に至らなかったものと考えられる。</p> <p>これらを踏まえて、令和5年度より事業を廃止する。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課	-																					

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
8	○	インターネットショップ事業費	鳥取市の公式インターネットショップである「とっとり市」を運営し、市内事業者の販売の促進及び販路の拡大、また、非対面型ビジネスモデル転換への取組を支援する。	売上件数 売上実績 令和2年度 16,194件 63,616千円 ※別事業のキャンペーン売上 27,553千円を含む 令和3年度 24,559件 111,405千円 ※別事業のキャンペーン売上 84,892千円を含む 令和4年度 23,627件 114,687千円 ※別事業のキャンペーン売上 74,493千円を含む	臨時交付金を活用したキャンペーンにより、本サイトへの注目度が高まったといえる。商品の知名度は伸長していると考えられるため、基本的な取組みを継続し、更なる事業者の売上向上施策を行う必要がある。それには、麒麟のまち圏域の商品出店をさらに促進し、魅力のある商品構成を図り、販路拡大が必要である。	経済観光部	経済・雇用戦略課	185
9	○	企業立地促進補助金	企業の立地を促進し、産業構造の高度化及び地元企業の生産性向上を図るための支援を行う。	要件を満たす企業等の設備投資に対する支援 ①鳥取市企業立地促進補助金（所得向上メニュー）交付実績なし ②鳥取市企業立地促進補助金（事業拡大・雇用増メニュー）5社 64,323千円 ③鳥取市企業立地促進補助金（生産性向上メニュー）1社 12,649千円 ④鳥取市企業立地促進補助金（コロナ対応メニュー）6社 87,237千円 ⑤鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金4社 3,409千円	中小製造業者の先端設備等の積極的導入による労働生産性向上とともに市民所得の向上は統計データ等からも必要と考える。今後も経済情勢や企業ニーズに対応した支援策にシフトさせながら積極的な企業支援を行っていく。	経済観光部	企業立地・支援課	189
10	○	労働力確保対策企業支援事業費	日本語学校を通じて高度外国人材を確保しようとする企業を支援する。	・地元企業が日本語学校を活用し高度外国人材を確保するための経費を支援 鳥取市外国人材確保・定着支援事業補助金 交付実績 2社 2,000千円	市内企業においては、高度外国人材の活用に対し消極的な企業が多い。外国人高度人材の活用方法や有効性について、引き続き地元企業へPRしていく必要がある。	経済観光部	企業立地・支援課	189
11	○	ビジネスマッチング支援事業費	中小企業等が新たな取引先や販売ルートを開拓するための商談会、展示会への出展を支援する。	市内に本社を有する中小企業者の展示会出展経費の支援 鳥取市ビジネスマッチング支援事業補助金 交付実績 6社 1,115千円	コロナ禍以降、従来通りの体面形式の展示会だけではなく、オンラインによる展示会や商談などが活発に行われるようになってきている。販路開拓の支援の在り方を見直し、新たな支援策を検討する。	経済観光部	企業立地・支援課	190

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
12	○	農商工連携マッチング事業費	農商工連携をテーマに、市内事業者同士の生産物、加工品、技術、流通ネットワーク、販路等のマッチングを図る。	農商工連携マッチング委託事業 ・新商品開発へのコーディネート ・市内企業へのヒアリング調査、各種補助事業の周知 ・専門家によるアドバイス ・市場調査、商談支援 ・販路開拓及び地域の魅力創造と発信を行うプロジェクトの支援 支援件数 80件	農商工連携・6次産業化に意欲のある事業所と連携し、売れ続ける商品としてフラッシュアップ等を継続して行うため、伴走型支援を継続したい。	経済観光部	企業立地・支援課	191
13	○	事業承継推進事業費	事業承継に関する費用を支援することで市内企業の事業承継を促進し、産業の維持・継続的発展を図る。	・事業承継に係る融資を受けた事業者が支払う利子の支援 交付実績 6件 381千円 ・第三者に対する事業承継について専門機関に相談するための経費の支援 交付実績 1件 250千円 ・事業承継セミナーの開催 開催実績 2回	鳥取県の後継者不在率は都道府県別で高い状態にあり、事業者への啓発、事業承継支援は喫緊の課題である。市内事業所の維持・発展を促すため、継続して支援を行う。	経済観光部	企業立地・支援課	192
14	○	SDGs 未来都市推進事業費	【環境】再生可能エネルギーの普及活動を推進する。新たな電力供給モデルとして微生物発電の実証実験を進める。 【経済】環境面の取組を活用した次世代農業の育成を推進する。 【社会】本市独自の取組を県外の方が体験して学ぶことができるワークショッププログラムを創出する。	・微生物発電の実証実験を行っている企業に経費の一部を支援した。(令和4年度1件、3,000千円) ・ラーニングワークショッププログラムのモニターを実施し、鳥取県外に本社のある企業や団体から6社6名が参加した。 ・企業に向けてSDGs経営の実践に向けたセミナーを開催した。 参加人数：43団体54人	引き続き微生物発電実用化に向けた活動の支援を行う。また、ラーニングワークショッププログラムのフラッシュアップ等を図る。 行政だけでなく鳥取市SDG未来都市の各ステークホルダーも積極的に情報発信を行っていただき、本市の取組みのさらなる認知拡大につなげる。	経済観光部	経済・雇用戦略課 (スマートエネルギータウン推進室)	179
15	○	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	遊休不動産を活用する民間のまちづくり事業に対する投融資を促進する。	起業支援 ・起業希望者の掘り起し・サポート ・事業継承マッチング ・空き家・空き店舗マッチング ・遊休不動産活用支援 ・マネジメント型まちづくりファンド(投資) 利用事業者数 0社 ・鳥取市まちづくり融資～リノベーション創業型～に対する利子補給(融資) 利子補給対象事業者6件 補助額 1,418千円	まちづくり投融資の活用件数が伸び悩んでいる状況にある。今後も事業効果を高めるために、商工会議所等関係機関との連携を深め、引き続き伴走型支援を継続する。	経済観光部	企業立地・支援課	193

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和4～6年度)	事業の成果 (令和4年度)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
16	○	(再掲) 地元企業早期ブランディング事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時)	若者の地元就職の促進や雇用の安定を図るため、雇用創造・雇用促進に関する機関や団体で構成する「鳥取市雇用促進協議会」が実施する事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校3校の589人が地元企業43社に訪問。(鳥取西高校:1年生282人・鳥取商業高校:1年生151人・八頭高校:2年生156人) 	<p>アンケートによると、将来地元就職するための最優先事項は「働きたいと思うような企業が多くできること」であり、今後も地元企業との接点を増やしていく必要がある。</p> <p>県内高校生の70%以上が進学し、その多くが県外へと進学する状況において、進学前の進路選択前の段階で地元企業の事業や魅力について知ってもらうことで将来のUターンにつなげていくなどが重要となり、引き続き実施高校を増やし、地元企業の認知度向上に向けて産学官で取り組む。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課	345
17	○	インターネットショップ事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付)	鳥取市の公式インターネットショップである「とっとり市」を運営し、市内事業者の販売の促進及び販路の拡大、また、非対面型ビジネスモデル転換への取組を支援する。	<p>インターネットショップキャンペーン《コロナ対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン期間:3月1日～1月30日 ・キャンペーンによる売上金額:83,597千円 ・委託先:鳥取市観光コンベンション協会 <p>※「とっとり市(いち)」カスタマーセンターを運営</p>	引き続きインターネットショップによる販路の拡大・開拓を図る。	経済観光部	経済・雇用戦略課	346
18	○	労働力確保対策企業支援事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時)	地元企業の労働力不足を解消するため、日本語学校を運営する学校法人を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校に対し運営を支援 <p>鳥取市労働力確保対策緊急支援事業補助金交付実績 14,474千円</p>	高度外国人材の活用は、地元企業の労働力不足を解消する大きな手段の一つである。日本語学校を運営する法人を支援することは間接的に企業の労働力不足解消に寄与すると考えるため、継続して支援を行う。	経済観光部	企業立地・支援課	349
19	○	(再掲) 鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	本市に所在する大学または専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業への就職促進活動や魅力発見活動を支援し、若者の定住につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が麒麟のまち圏域内に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 1件 ・学生の麒麟のまち圏域内への就職を促進する事業及び学生が麒麟のまち圏域内に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 2件 	就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。	企画推進部	政策企画課	-